京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價　本紙　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久神一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話大三番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番

●慶北の養蠶

慶尚北道永川郡に於ては恩賜授産金を以て養蠶を始めることに決定し桑園の設備に就ては養蠶に熟せる者を配付し又は地を所有せざる者に對しては小作料を補助して桑樹栽培を手傳はしめ養蠶技術の發達を謀る爲め郡班（學）生中より適當なる者を選び補助金を支給して大邱養蠶傳習所へ入所せしむる等あり同郡に於ても養蠶講習所を郡内に設置して生徒を養生すると同時に養蠶巡回教師をして各方面に巡回視察せしむべく郡內二三箇所に桑苗圃育所を設けることになりたり

●長春大豆集散

昨四十三年に於ける大豆産額は一昨四十二年に比し收穫高頗る多量なるは其豐作たりしこと亦一因たるべしと雖も全く植付反別の增加せし結果に外ならず然るに一昨年海外輸出頓に盛況を來たし外商は其買付に競爭せし爲め相場日に增し騰貴して遂に大暴騰を極め賣買者相互とも少からず痛手を受け續々と其の倒產を見るに至りたるも而も農民は前年に例なき高値に賣却し其利を得ることも尠からず左れば次年一層の利益を得んものと作反別を擴大したれば前年に比し其收穫高に於て意外の增額と爲りたるが今長春驛に於ける四十一年十月以來の發送高を見るに

自四十一年十月至四十二年九月	發送	
大豆		六十四万五千八百七十七石
雜穀		十四万千二百八十一石
計		七十八萬七千百五十八石
自四十二年十月至四十三年二月	發送	
大豆		四十二萬二千四百八十四石
雜穀		六萬二千二百六十九石
計		四十八萬四千七百五十七石
自四十三年十月至四十四年二月	發送	
大豆		五十一萬五千八百八十六石
雜穀		七萬八百二十石
計		五十八萬六千七百六石

以上數字の示すが如く四十二年度の發送數量は總計七十八万七千餘石にして內大豆六十四萬五千八百七十七石なり又四十二年十月より翌四十三年二月に至る五ヶ月間の總數量と四十三年十月より今四十四年二月迄の總數量とを比較するに實に十萬千九百四十九石の增加を示し而して大豆に付ての增加高は九萬三千四百二石となる是に由て觀れば四十三年度の出貨數量は四十二年に比し其五ヶ月間に於て既に十万餘石を增加したり而して之れより益々出貨の多からんとする最盛期に方りて偶々ペストの襲來したる爲甚大の打擊を與へて遂に荷馬車の交通は勿論一般の商業停止するの已むなきに至れるも今長春四圍の狀況を查するに農家に蓄藏する雜穀は頗る多量にして今日迄に賣却したる高は漸く其六分に過ぎず左れば殘りの四分は即ち現存するの數量にして如何に少なく見積るとも三十万石を上らざるべく前年に比しての增加高は蓋し二十萬石內外なるべし

●日本勸業改造說

資本金二千萬圓を標榜し信託、拓殖、特殊銀行業務等を營業目的として發起されたる日本勸業株式會社は株式募集に蹉跌を來し創立困難の境遇に瀕したるより此際之を改造し創立を進行せしめんとの議あり其改造案は未だ具体的に確定せざる由なるも創立總會を開き資本金を半額の一千萬圓に減少したる上營業目的も專ら朝鮮の拓殖を主とし之が機關として銀行を設置せんといふにあり而して大阪に本店を置き社名も朝鮮拓殖會社と改題すると共に大阪より新に多數の贊成者を募るべき計畫なるやにて目下東京側と大阪側との間に協議をなし居れるが創立に就ては英人某も多額の株式を引受くべき內約ある由なれば其方法に依りては或は改造案の成立を見るに至るべしとの說あれど實際の協議は進捗し居らずといふ

●大邱驛の改築

大邱驛改築に付ては一般人士多年の希望なりしが今回愈々當局に於ても其改築の必要を認めたるものゝ如く四十四年度に於て永久的大規模の設計を以て改築せらるゝやの風聞あり然して具体的成案は未だ當局に於て秘し居るものゝ如くなるが追次之を報道すべし因に今回の用地は頗ぶる廣大にし現今散在せる數家屋は取除かるゝに至らんと云ふ

外事一束

△淸國●當局が露國に與へし回答は我政府の要求全部を承認せる形式を爲せり。

△露國●が談判の主眼たる茶專賣に就ては一言も回答中に記載なく其實は○の回答也露國は更に如何なる態度に出づ可きか大に刮目の價値有。

△伊國●內閣總辭職は議會に於て所望を失すに依る。

△米國●クラーク大學教授ハ博士日本人發明の念射に就て專心研究に從事。

△米加●互惠條約案で關稅案討議の爲米國大統領は臨時議會召集に決せり。

△露國●首相ス伯辭職直ちに聽許され現藏相ココウゾフ氏之が後任に決す。

△ス伯●辭職の原因不明なれど裏面には强保守黨の反對ありしものと云ふ。

△後任●コ氏は前年我藤公と哈爾賓に會見の大任を帶び極東に來し人也。

△コ氏●の政治趣味は保守的對外政策は親獨的傾向を有する者と觀測さる。

△英國●下院海軍豫算を討議し豫算削減の計畫は大多數にて否決されたり。

△駐淸●露國公使コロストウエッツ氏被毆害との風說ありと哈爾賓電報す。

△南阿●前總督セ卿英國上院改革に付溫和なる說を出せしも自由黨不服耳。

文苑

◎鷄林集（五）　安東花暦園寄

雲の峰（下）　海雲

草の餅貯ひすぎてかたく成り
慈悲は貧富に依ぬ者かな
それ〳〵に說の違ふら長家
拾ふて籠に入れる紙くず
結ひ立ノ髮格別に光澤のよし
嫉妬もひとの病なるらむ
佐渡戾り途絶し梅雨の徒然に
壺に蚊の來ては脛刺す
神とのみ其の名は知れぬ古祠
饑饉に繼いて流行る惡疫
是程の月にも暑さまたのこり
釣て來た沙魚串燒にさす
羽當の角力の宿もはれなゝや
紺の暖簾の目立つ定もん
獻挨りも日和つゞきに白々と

召使れ初

第三十四回　黑法師

床には千利休の消息、芍藥の花、敷釜、炭の香深う籠りて、障子の棧に主の心聲する如し、國尾は正席、相伴は德兵衞夫婦、お運びはお道と決まりて手前の宗匠は六十五六の老人、帛紗捌き鮮かに、茶は山城宇治の銘物、特に彼地より取り寄せたる別儀の味は格別なり

「私ちや、ちよと賴みたい」逐に聞き覺えなき聲、德兵衞は愈よ驚き、愈よ不審して、お道の樣に目を付くれば、お道は只役目大事と耳も傾けず、ぢつと控へたる身の周圍に、冒し難き威は備はりて、牡丹は稚子ながら花の王たる德ありき「お道々々」と戶の外には又た呼ぶ聲す、德兵衞はもし國尾の耳に入ることなきかと心配して、坐にも堪へぬ有樣中途に坐を立つこともならず、お道々々と呼び捨にするは、果てお道を知れるものか、もしやとは思へど春來れば花も咲く、女の十六は花の盛りなり、深く約束したる人にてもありて、今日

茶事半ならんとする時、前栽の苔を踏む人の步音、庭番の落葉を掃ふかと思はれたるが、さは無くて「お道々々」と有るか無きかの微聲にて呼ぶ者あり、德兵衞ははつと驚きぬ、案內だにうごはず庭の中へ潛び來て、この大事の席の前に、お道の名を呼び掛くるは誰、家內の者か、外界の者か、何れにしても正客に對する大不敬、如何はせんと思ひながら、お道はと見れば端然と坐に沈着きて、今の聲も耳に聞えぬ如し

「お道々々」と庭には再び男の聲して

の事は知らず混雜に紛れ入り、奥庭に潛ろびたるには無きかと、不覺に思ひ亂るゝ中、手前は一順終りを告げて、釜の湯に松風の音颯々たり

されど國尾は坐を起たんともせざりき、德兵衞夫婦を相手にして、八方四方の雜話に時の移るも知らざりき、お道は用事果てゝ水屋へ去る、之を待ち兼ねたる如く、窓より顏を覗かせて「お道、私おや、先刻より斯程聲掛くるが、そなた耳に入らぬであつたか」と恨み聲に云ふは思ひ掛けぬ兄の佐十郎なり

「お兄樣、何用でござりまする」とお道はきつとして「あなた誰に答へさせて、このお庭前へお入りなされたでござりまする」

「誰の許可を受けたでもないが、折入つてそなたに力盡しを賴まねばならぬ事あつて、先刻よりての母樣の蔭に隱れてあつたが、まづは宥せ」

「何事も聞きませぬ、すぐ御歸りなさせませ」

とお道は懷しさうな顏だもせざりき

「左樣に無慈悲を申すものでは無い、そなたが當家に奉公致すを便つて、態々これへ參つたでないか」

「御用あらば何故正しう執次をお賴みなされませぬ、あなた妹とはござりまするも、只今は當家召使ひ、自分の身体ではござりませぬ」

「それは存じ居る、ちやが今日の混雜に執次を賴むとも、快う對面は叶ふまいと存ずるわ、密とこれへ忍び參つた」

「ならば何故お待ちなされませぬ」とお道は一步も貸すこともなく「當家御用のお濟くまで、お待ち遊ばすが當然でござります」

「所が左樣に優長らしくはして居られぬ」と佐十郎は聲をひそめ「今日は當家へ珍客が來らせたといふ、誰か」

「何事も聞きませぬ、御用あらば執次を持て、御仰せなさせませ」

電報（廿四日）

▲英皇戴冠式の日程

英國皇帝戴冠式は六月十七、十八、十九の三日間各國の君主大統領代表者隨員共に倫敦に到着の豫定にて十九日より正式の日程は左の如く豫定さる ▲十九日月曜日 同日夕英國皇帝陛下同皇后陛下にはバッキンガム王宮に於て晩餐を催させられ各國代表者に饗應あるべし晩餐後兩陛下には該各代表者隨員を引見あらせらるべし ▲廿日火曜日 兩陛下にはバッキンガム王宮に於て特派使節を引見せられ公式の晩餐會を催させられ各賓客は夜會の間晩餐の間に於て御優遇せらるべし ▲廿一日水曜日 兩陛下には英國各殖民地首相及同地の各代表者を引見せられ而して同夜は皇族の招待にて右參會者に晩餐を饗應せらるべし但し皇族はコンノート公なるべし ▲廿二日木曜日 戴冠の大禮を執行せられ ▲廿三日金曜日 兩陛下には公式鹵簿にて倫敦市中を通御あらせられ ▲廿四日土曜日 兩陛下にはスピットヘッドに於て擧行の觀艦式に成らせられ後兩陛下には快走船に乘御あらせらる但し同船に乘御日曜日を過させ給ふならん ▲廿六日月曜日 劇場に於て公式に觀劇あらせらる ▲廿九日木曜日 セント、ポール寺院に於て擧行の宗教上の儀式に臨御式後ギルドホールに於て晩餐を催させらるべし

▲鐵道通信會計法

本日官報を以て朝鮮總督府鐵道通信官署にて取扱ふべき現金出納に對する法律公布されたり

▲駐淸露公使暗殺說

駐淸露國公使コロストウキリッフ氏は兇漢のため暗殺せられたりとの報あるも其の筋には何等の報なし兩國間に問題の行惱めるを以て斯る風說行はれたるものなるべし

▲米大統領と我大使

華盛頓來電に依れば內田駐米大使は大統領タフト氏の請求に依り同氏を訪問したるがタフト氏は右の會見に於て日米兩國の關係は圓滿にして親善なる事を言明し又墨國々境に於ける米國の出兵は排日的意味を有せりとの說は全然無根の妄說にして單に右出兵は米墨國境を警戒せんとするに過ぎざる旨を附言したり

▲政友會議員總會

昨廿四日政友會代議士總會を開き西園寺總裁の訓示ありて幹事長奧繁三郎氏就任す

▲排日案通過

米國加州の上院に於ては日本人の土地所有禁止に關する一種の排案通過せり

雜報

●朝鮮の司法機關

朝鮮に於ける司法機關の現狀を聞くに裁判所の數は高等法院一、控訴院三、地方裁判所八、區裁判所六十合計七十二ケ所にして之れに配置せる職員は判事二百五十一名（內朝鮮人七十名）檢事六十二名（內朝鮮人六名）書記長四名、通譯官四名、通譯生、書記四百二十九名、合計七百四十六名なり而右の內勅任官は廿一人の定員なるも現在は十五人にて鮮人勅任官は目下一人もなく又司法廳職員は長官一、書記官三、事務官一、屬十六名なりと

免稅後の淸津

楠野淸津府尹談

淸津港埋立に關する總督府との交涉用務を帶び目下滯在中の淸津府尹楠野憲兵大尉を訪ひ免稅律施行後の狀況を問ふ其談に曰く

淸津は北朝鮮に於ける重要港と認められ四十一年始めて開港せる韓國最後の開放地にして爾來僅かに三箇年を閱みせしのみなるが其進步發達の著しき實に驚目の價値あり而して同港は表面韓政府の所管なりしも實際の施設に就ては帝國理事官の經營に委託され以て今日に到りぬ其間時の韓政府は同港開放の目的に副はん爲め同港を通過して間島及渾春に輸出入する貨物の免稅法律を制定し大に北滿洲の發展と期圖せしが不幸にして現在の交通狀態は海陸共に其不便名狀すべからず一例を示せば輸入貿上最大關係地たる大阪神戶との聯絡を見るに日本海の橫斷航路を有せざる爲め不得已關門海峽を經て釜山元山を迂回せざるべからず而して此間に要する時日は實に七日以上の永きを要するを以て其運賃に於て絕大の不利を示しつゝあるのみならず翻つて陸上の交通を見んか更に一層不便の甚しきを極む斯の如き次第なるを以て一方淸津の通關に於て**免稅の特典**も**遂に無意味に歸**せんとするの**憾**みあるは是れ今日の狀態なりとす若し夫れ日本海の橫斷航路にして開始せられんか大阪淸津間は僅かに三日間を以て交通し得べく併せて北陸山陰方面との近接を來たし各種の點に於て其利益甚大なるべきは識者を待つて後知るを要せざるなり則ち對岸一呼應の間に彼我の近接を保ち得べきに其航路なき爲め上述の如き迂回の已むなき現狀に在るは北朝鮮の開發上豈に深憾に堪ゆ可けんや思ふに陸上の交通に就ては現に道路の開鑿着手中に在れば近き將來に幾分の不便を除去し得べきも橫斷航路に到りては每期議會建議案として現はれ其都度採用せらるゝのみにて今に實現を見る能はず而して其要求補助額幾千かを言へば僅かに八萬圓の少額に過ぎざるなり更に橫斷航路の必要急務たる所以を再說せんに世人の知る如く北朝鮮は殆んど無盡藏とも謂つべき水產の遺利を有し所謂る漁業の狀態を顧みれば幼稚なる朝鮮人の輕舟に委するのみにて內地人漁業者に到りては寥々晨星も啻ならず偶々是あるを見るも九州四國方面の**出稼漁民にして暖來寒去**の徒のみなる然るに潮流及魚族共に同一にして移住上幾多の利便を有する北陸山陰の漁民の如きは其有利を知るも渡來する能はず蓋し斯の如きは一に是**橫斷航路の缺如に因らずんば**あらざるなり則ち幾多の漁獲物あるも之を腐らしむるに途なく徒に寶の持ち腐れに了ればなり要するに淸津港の現狀は彼の間島渾春等北陸の一大寶庫を有し殊に大阪乃至北陸山陰の有望地を控ゆるも橫斷航路の設備なき爲め尙は未だ充分に免稅の特典に浴する能はざるを大に遺憾とす

總督府の豫算

帝國議會の協贊を經たる朝鮮總督府四十四年度の歲入出豫算左の如し

▲歲入經常部

第一款朝鮮歲入	二四、〇六七、五八三圓
第一項租稅	一〇、八〇一、五一七
第二項印紙收入	六五九、二五九
第三項驛屯土收入	一、二六一、八三一
第四項官業及官有財產收入	一〇、九六二、〇三三
第五項雜收入	三二一、九六四
第十二款工業傳習所費	六三、六三〇
第十三款中央試驗所費	七四五、八八四
第十四款通信費	二、八四四、九五三
第十五款鐵道事業費	五、二〇七、八三六
第十六款營繕費	三二六、八三六
第十七款諸支出金	四五、九一六
第十八款公債及借入金利子	一、七三三、四九七
第十九款豫備金	一、〇〇〇、〇〇〇
經常部合計	二七、八九一、四三七

△歲出臨時部

第一款學事諸費	二七、七六七圓
第二款勸業費	三一五、六一八
第三款憲兵補助員費	一、〇五一、二五八
第四款朝鮮部隊費	二四八、四七九
第五款臨時警備費	一五六、五五〇
第六款臨時土地調查費	一、二五七、二四六
第七款補助費	一、四三六、八九六
第八款臨時出資金	七九〇、〇〇〇
第九款募債費	一、三五一、一七〇

△歲入臨時部

第一款公債募集金受入	二一、三二四、一九九圓
第二款補充金	三、三五〇、〇〇〇
臨時部合計	二四、六七四、一九九
歲入合計	四八、七四一、七八二

△歲出經常部

第一款李王家歲費	一、五〇〇、〇〇〇圓
第二款總督府費	二、八〇四、六六四
第三款裁判及監獄費	二、五三二、〇二〇
第四款警察費	二、八五九、二五五
第五款地方廳費	四、二三三、四四三
第六款總督府醫院費	二五〇、五六九
第七款慈惠醫院費	三五二、三八一
第八款諸學校費	二七二、六七二
第九款稅關費	六〇三、八〇八
第十款專賣局費	二六六、八二五
第十一款勸業模範場費	二〇六、四六六
第十二款治道費	二、三七三、六六四
第十三款海關工事費	二、〇二六、〇六三
第十四款電信電話線路營繕費	三〇〇、〇〇〇
第十五款航路標識營繕費	一二〇、〇〇〇
第十六款鐵道建設及改良費	八、五〇〇、〇〇〇
第十七款臨時築港及道路設備費	二三五、五六六
第十八款準備鑛業所第二次擴張費	九六、七一一
第十九款鎭南浦水道工事費	八〇、〇〇〇
第二十款赤田川改修費	八三、八〇〇
第廿一款發電水力調查費	三〇、〇〇〇
臨時部合計	二〇、八五〇、三四五
歲出合計	四八、七四一、七八二

●慈惠院長會議

既報の如く二十五日午前十時より中樞院事務室に於て各道慈惠院長會議を開きたり出席者は各醫院長の外藤田總督府醫院長、宇佐美內務部長官、小原地方局長、奧貫技師等にして開會劈頭宇佐美內務部長官の訓示並に藤田院長の講演あり午後一時山縣政務總監より一場の訓示あり同二時より各醫院長の實況報告及諮問應答等あり午後四時半散會したり因に二十六日休會二十七日は庶務規程統一問題に就て協議する筈也

●警務會議經過

去廿日より警務總監部に於て管內憲兵分隊長警務署長會議を開設せしは既報の通りなるが今其議事經過を聞くに廿日は衞戍司令官申告、廿一日より廿二日午前は管內狀況報告、廿三日は諮問事項、廿四日は質議事故、松寺檢事正、稲葉理事の口演、警務總監部各課長の口述等あり廿五日は藥師川警務部長の訓示廿六日は事務打合せ等にて午前中閉會し玆に全く閉會を告ぐべしと

議會と朝鮮法規（一）

今期議會に附議されたる朝鮮關係諸法案は計三十件にして可否決左の如し（總督府着電）

一、明治四十三年度朝鮮特別會計歲入歲出豫算追加案（政府提出）原案通り兩院通過二月三日附公布

二、明治四十四年度朝鮮總督府各特別會計の歲入出豫算政府提出總督府關係の分兩院通過せり

三、朝鮮に於ける貨幣整理の爲め生じたる債務を貨幣整理資金特別會計に移屬せしむる法律案（政府提出）本案は韓國併合に伴ひ貨幣統一の必要上舊韓國貨幣整理の爲め生じたる債務を貨幣整理資金特別會計に委囑せんとするものにして原案通兩院通過し三月二十一日公布

四、朝鮮事業公債法案（政府提出）本案は朝鮮事業費支辨の爲め公債を發行し又は借入金を爲さんとするものにして衆議院に於て公債發行の期限を五十五年以內とするの修正を爲し貴族院は修正案通り通過せり

五、朝鮮事業公債金特別會計法案（政府提出）本案は朝鮮事業公債金を特別會計の經理を爲さんとするにありて原案通り兩院を通過せり

六、朝鮮鐵道用品資金會計法案（政府提出）本案は朝鮮鐵道用品資金の會計を特別の經理と爲さんとするにありて原案通り兩院通過

七、朝鮮森林特別會計法案（政府提出）本案は朝鮮森林の會計特別經理と爲さんとするものにして原案の通り兩院を通過す

八、明治四十三年勅令第三百三十四號（事後承諾案）を求むる件外十一件本案十二件は總て緊急勅令の事後承諾を求むものにして其の中朝鮮に施行すべき諸法令に關する件のみは承諾を與へられず其の他の十一件のみは承諾を得たり

九、朝鮮に施行すべき法令に關する法律案花井代議士の提出本案は前記朝鮮に施行すべき法令に關する勅令と內容を同ふするも非常命令を以て將來に效力を保たしむるは憲法の常規に戾るが故に之れを法律として公布せんとするものにして衆議院に於て修正し貴族院に於て修正案通り通過す

る事となり四月一日より施行せらる

●國境通關の設備

國境通關の現狀は甚しく不備を極め之が爲め密貿易或は通稅の總額は殆んど窺知すべからざる程の巨額に達すべし而して度支部にては豫ねて此方面の調査研究を怠らざりしが近く相當の設備を爲すべしと云ふ

●滿鐵航路の延長

南滿鐵道會社の經營に係る大連及上海航路は今般仁川に延長することに決定し汽船三隻を以て往復する筈なりと

▲人さまざま▼（十五）

三浦直君

或る人君を相すらく、彼の通り唇の厚い蓋し眞つ直の人に相違ないと、如何にも其通で乾々として民團立高等女學校長に身を捧げ以て名は實の賓を現はして居る、別に是といふ娛樂もなく唯だ本を讀むのと散步するばかり、而ふして卒業生の訪問に接し斯んな嬉しい事は無いと樂むで居る、君は熊本縣出身で正則に學校を經來らないが、元來眞面目一轍の人だけに獨學で行り遂げ三十年に文部省の教員檢定試驗を受け首尾能く合格した、夫れから大坂市視學や小學校長を歷し民團に招聘さるゝ以前は信州信濃の更科爺婆の名所上田高等女學校の校長であつた、君曰く金持ちや縹緻の能い女學生は是を鼻に掛けて困る、故に私は斯よい方面の矯正には遠慮會釈なく強壓を加へて居ます。

●淸津の埋築工事

淸津港の埋立工事は既に第一期計劃を終り將さに第二期埋築に移らんとせしに本年度豫算に於て斯る要求の目的を達する能はざるを以て楠野同地府尹は大に之を遺憾とし市民負擔の下に之を續行せんと欲し今回上府して總督府に交涉中なりと云ふ

●稅關貨物取扱令

制令第一號を以て總督府稅關貨物取扱に關する件發布あり右結果府令第二十九號を以て施行細則を定めたるが其要項は發許料を二十圓とし取扱人は仁川釜山京城各二千圓鎭南浦各千五百圓其他は千圓の身元保證金を提供せし

京城民會議事

▲南大門幼稚園廢止 南大門小學校附屬幼稚園廢止案は廿四日の民會に於て異議なく可決す ▲高女補修科は委員附托 高等女學校補修科を新設すべき件は昨廿四日の會議にて委員附托となりしが同委員は別に選定せず別項所載の豫算委員に附托する事となれり ▲豫算案の委員附托 來年度豫算案は廿四日も前日に引續き討議せしが歲入出の全體的問題を了へたれば豫算全部を委員附托となす事とし七名の委員を選擧し大村百藏、和田常市、中島司馬之助、高橋章之助、曾我勉、皆川廣濟、岩田仙宗の諸氏當選し尙ほ歲入部の戶別稅等級割營業稅及雜種稅等に就ては別に委員を選定して是れが調査を附托する事を決し選擧を行ひ戶別稅等級割委員は增田、兼古、中村、三好、前田の五氏、營業稅及雜種稅委員は城林田、梶浦、村井、田中五氏當選す ▲豫算委員會 別項豫算委員會は二十五日午後二時より民團樓上に於て開催し尙ほ四五日の日子を要すべく又結了の上は各委員會とも交涉會を開くべければ本會議は本月末にあらざれば開くこと能はざるべしと

●日の出小學校授與式

京城居留民團立日の出尋常高等小學校は既報の如く二十五日午前十時より卒業證書並に修業證書授與式を同校講堂に於て擧行す職員兒童及來賓父兄一同式場に入り河合校長擧式の旨を陳べ君が代の唱歌勅語奉讀等終り後校長の成績報告證書及賞品授與卒業生に對する告辭ありて海津民團議長峯岸本社長民長代理國泉書記の祝辭演說ありて生徒總代金尾康二君明晰なる口調にて答辭を陳べ唱歌螢の光りにて式を終り後生徒の學藝會ありたり因に卒業生は高等科男十八人女十六人尋常科男五十四人女五十六人なりき

●龍山小學校授證式

京城民團立龍山尋常高等小學校にては二十五日午前十時より卒業修業證書授與式を擧行第二鳴鈴により兒童校庭に整列來賓席に着き三分一學校長の擧式の挨拶終つて兒童は君が代の唱歌をなし校長勅語を奉讀す此間一同最敬禮を表し勅語奉答の歌を兒童によつて唱へられ其より證書及び賞狀賞品本社寄贈の賞品を授與し校長は學事報告に次で卒業生に對する訓戒の辭と共に本社獎學賞品の趣旨を披露し次に來賓古城民長廣田學士の演說峯岸本社長の祝辭（代讀）ありて後兒童總代山本忠彥答辭朗讀をなし兒童一同の唱歌（螢の光）ありて之にて芽出度式を終へたり

●仁川商校授證式

仁川商業學校にては今年初めて第一回の卒業生を出す事とて廿六日午後一時半より民團樓上に於て卒業證書並に修業證書授與式擧行の筈なるが卒業生中優等者は左の如し

本科 太田虎藏（長崎）後藤德治（鹿兒島）淸水榮太郎（長崎）（語學專修科）坂上文吉（大阪）

●仁川小學校授證式

仁川尋常高等小學校にて廿五日午前十時より卒業證書修業證書授與式を擧行したり優等卒業生は左の如し

（尋常科） 富田良一、大村利雄、松本茂、梶本庄太郎、田中梅香、上田わか、平田なか、壬生綠、三谷ひさ、宮田まさ（高等科） 福湯幸一、寺川昇、村谷武夫、石本はる

●仁川文庫の盛況

仁川基督教青年會の附屬として會長大谷氏の斡旋にて本月六日開館せし仁川文庫は設立後日尙淺しと雖も益々盛況に向ひつゝあり今回民團より四百部の書籍を貸下げたる他新聞十三種雜誌六種書籍百五十種等あり每日二十名內外の閱覽者ある由なるが同會にては益々會の發達を圖り每月十圓以上の新刊書類を購入し行く行くは一大文庫となすの計畫也と

●昌德宮御誕辰宴

廿五日は李王殿下の御誕辰日なるにより午前十一時より李㵳公、李熹公兩殿下を始め高等官各貴族並に李王職高等官約百五十餘名祝賀を嘉納せられ一同に午餐を賜ひたり尙は當日山縣政務總監代理國分人事局長は昌德宮に參候し祝辭を言上せり而して李王殿下には宮中の祝宴を撤せられたる後午後二時出門德壽宮に成り李太王に御對顏午後四時還宮さる

●中井咸北內務部長

咸鏡北道內務部長中井喜太郎氏は昨年來の病氣今尙は全快せず旁々醫師の勸告に依り暫く歸省の上靜養する事となり昨朝當地を經て出發したり

●松寺檢事正招宴

松寺檢事正には二十五日午後六時より目下開議中の分隊長警察署長一統を京城ホテルに招し晩餐會を開く筈にて明石警務總長、檜垣道長官にも臨席すべしと

公人私人

△牟田熊彥氏（海州慈惠病院長）海州へ
△中井喜太郎氏（咸北事務官）釜山へ
△淺岡重喜氏（北韓新聞社長）平壤へ
△支岐備氏（第一銀行監查役）浦尾旅館
△上田兵吉氏（侍從武官陸軍中佐）巴城館に
△井上雷禮氏（日本銀行員）天眞樓に
△島津貴暢氏（男爵）浦尾旅館へ
△小山七郎氏（湖南農工銀行支店長）同
△松本繁正氏（慶北道慈惠醫院長）同上
△蟻川享氏（平壤慈惠醫院長）旭旅館に
△兒玉好熊氏（鹿兒島新聞社理事縣參事會員）巴城館に

▲京城手形交換高▼

三月廿五日 金高 一四七八一四、九四 枚數 二八八

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 廿四日の分 乘車客 五九〇 下車客 九九二 乘車賃金 一、一三七、六〇
▲南大門驛貨物發送高 廿四日の分 發送 六五噸 到着 四四一噸 貨物賃金 一、九三八、八一
▲龍山驛乘降客 廿四日の分 乘車客 八七 下車客 一五六 乘車賃金 八三、二二
▲龍山驛貨物發送高 廿四日の分 發送 三噸 到着 七五一噸 貨物賃金 一一、二二

▲治外法權▼

菜根譚講義と云ふ書が某先輩の東京土產として手に入つた、書中記する處は普通植物學中の菜根譚にはあらずして、人間はイツも菜根を喰つて生きる覺悟を有たねば大事は爲せぬものぞとの敎である▲其前篇冒頭に曰く道德に棲守するものは一時に寂寞たり、權勢に依阿するものは萬古に凄凉たり、達人は物外の物を觀、身後の身を思ふ、寧ろ一時の寂寞を受くるとも萬古の凄凉を取る勿れ、と▲ヨク琵琶歌でもヤルが夫れ達人は大觀すと、大觀とはツマリ物外の物を見、身後の身を思ふことであるのだ、大觀此境に到れば官となく民となく自由安樂土に生活し得るのだ、而して斯くの如きは菜根を嚼んで生きるの覺悟を伴ふものであるのだ▲此數日は當地高等女學校を始めとして各小學校の卒業及び修業證書授與式があつた、何れがアヤメかカキツバタ、其劣らぬ成績は教職者が骨折の結果だ、記者は此機會に於て教職者に深厚の謝意を表するのであるのだ▲只だ玆に注意すべきことは我京城のみならず、半島各地內地人各學校生徒の成績が年增しに良くなるとは云へ、之を內地の各府程度の學校卒業生に比するときは其學力が劣つて居ると云ふ評判があることであるのだ思ふに此評判にして眞ならんか、之れぞ國家にとつて由々敷大問題であるのだ▲大和民族が大陸に膨脹する、其文明を大陸に宣傳する、而して此使命を全ふすべき任にあるものは內地離びしと云ふ年寄りの移住民には非ずして今は幼き男女の學生であるのだ▲之等學生にして內地の學生に比して劣るとせんか、取も直さず文明宣傳の力を減ずるものであるのだ▲總督が偉らい、軍人が偉らい、併し總督と軍人のみでは民族の發展も出來ねば、大帝國の建設も出來ぬ、要は移住民の子女を良く教育して有用の材を作り、彼等をして將來の大陸經營を爲さしむべーであるのだ、玆に於てか半島內地人の教育は決して忽にすべからずであるのだ。

●藥師川警務部長招宴 藥師川警務部長には廿六日午後六時より會議招集中の[illegible]

相場電報（二十五日）

▲神戶寄 電鐵引 京阪同 電鐵同 三五、七〇 三五、六〇 六二、四〇 三五、八〇 三五、九〇 六二、五〇
▲東京株新同 大阪株新同 株式同 [illegible]

●廿四日前場三月止十九圓六十九錢▲四月止八十六錢▲五月止十六圓二錢▲止六十八錢 後場三月寄十九圓七十錢▲

▲仁川米豆取引 ●廿四日 現米不申▲最高同上▲最低七十 十一圓七十八錢▲五日寄

…外務書記官一行を京城ホテルに招き慰勞の酒宴を張りたるに當夜は明石警務總長、檜垣…官にも臨席の…

相場電報（廿五日） 明治町西村支店着電
▲大阪株式（四月限）（昨日後場）（當日前場）
▲大阪期米
▲後場二月寄十九圓七十錢▲止六十八錢 十一圓七十八錢▲最高同上▲最低七十…
四月寄八十五錢▲五月寄十六圓 七十九錢▲止…

二十五日 朝の南大門驛

春未だ寒き風を外套の襟に除けて西部阿峴の上に立てば遠く連る山々の峡に消えぬ雪の見へて帽子の眉庇動る風も眼に沁む思ひこそすれ

春風や女房す草の中

盤石坊藥田里の空地の中に十歳斗りなる女の子の蹲踞いて用達せるを見る。

藥田里派出所を右に左に折れて停車場に迎ふ畠山と云家に今川燒を商ふ、幼き子達群れ集いて赤く主人は店より目透しの茶の間に食事認めつゝあり「チョーヨ」と呼べば「チョムカマニイッソ」と主人の箸は急に動くチョンガーなるらし。

停車場に入る、煖爐の火の燃ゆること殺かに其の周圍に人もなし、寂しと云ふも春なれや

鹿兒島觀光團員諸氏、多く羽織袴の禮裝して立たるゝを見る、中に洋裝したる三十一二の貴公子然たる美男子あり嶄然として群を拔く、私に惟へらく島津貴暢男には非ずやと。

一等室に入る何色と云ふか茶色がちなるコート召したる二十一二の丸髷の赤き手柄に新妻の愧らい見せて十五六の義妹君とも見らるゝ下髮の根に紅きリボンの太く長きを結びたる滴紫のお召の羽織に赤味帶んだ薄絹の長きを襟にフンワリと掛けたる端の兩方がスラリと垂れて膝の邊り紋れ召の二枚襲の裾も輕げに赤き小さき天鵞絨の手提げ鞄を手弄りて在すと列び立ち笑み交はさるゝ、た一人とも美しくして優しげなり。

モ一遍私に惟へらく此れ島津男の令夫人及び令妹にはわらすやと

京城府事務官高橋康世氏は山なす程の荷物と共に來る、行く先は北海の故郷と見し。

八時四十分仁川行列車は觀光團員一行を貸切車に僕が男爵と見し人と其の夫人令妹と見し人々を二等車に乘せて春風に鞠して音もなく九時、京橋君は多くの見送り人と別れて故郷北海道の殘雪を賞ふべく輕き身拵と共に去つた、サラバ

●**優等卒業生** 日の出小學校生徒卒業式は二十五日午前十時より同校に於て擧行せられたり本社よりは左の優等生に對し賞品を贈呈したり

高等科 旭町二丁目虎之助氏長男 金尾廉二（十六）
同 南山町一丁目悌三郎氏長女 藤田季子（十七）
尋常科 本町六丁目俊吾氏二男 永野碩哉（十四）
同 米倉町二十四番戸鐵馬氏長男 川鍋正雄（十四）
同 大和町一丁目克彥氏長男 橋川一郎（十三）
同 大和町二丁目達氏養女 遠藤亮子（十四）
同 本町三丁目富太郎氏長女 秋吉みつ枝（十四）
同 南山町太兵衛氏四女 山口たみ（十四）

●**優等卒業生** 龍山小學校生徒卒業證書授與式は二十五日午前十時より同校舍に於て擧行せられたるが左記優等卒業生五名に對し本社よりは賞品を贈呈したり
▲尋常科 川眞田武雄 稻垣千代子 小城武子
▲高等科 平岩範夫 大塚ぬい子

●**ポンノ一時の出來心** 京城府龍山坊丁馬碑契統戸不祥酒幕遊永俊長男紹万福（十七）は龍山元町四丁目餅商杉本末松方の雇子なるが本月廿一日賣上代金五十錢を遺失し之れが償却に困難せし爲め遂に惡意を生じ同日午前十一時同本町三丁目三井文太郎方にて家人の不在を覗ひ箪笥の抽斗中にありし十圓紙幣及び印章壹個を窃取し十錢の替料を出し之れを京町湯屋友川廣吉方にて藥錢に交換の上五十錢を盜み取りこれを懷にし殘金九圓四十錢と印章を紙片に包み再び前記三井方に立戻り何喰はぬ顏にて床下に投げ込み置きしか被害者三井の盜難屆に依り龍山署にて搜索の結果超萬福を檢擧訊問せしも容易に其實を吐かざりしが遂に自分は主人に辨償すべき五十錢を欲しさに窃取せし旨自白せしも平素の操行及び情狀等にて斟酌せられ多分起訴猶豫となるらむと云ふ

●**虫の附いた箱入娘** 仁川仲町○○組の養女たけ子は未だ父母の見分もつかぬ内に幸か不幸か今の親に貰はれ蝶よ花よと育て上げられ學校から裁縫に至るまで女の道一通りの教育を受けかてゝ加えて生れ付ての美人なりしかば附近の評判娘となりしより養父母の喜び一方ならず自分は已に五十の坂を越さんとしつゝ有るに未だ一人の子をも擧げざるよりたけ子を我が子よりも勦はり居たるぞ道理なり養父母はたけ子の漸く生長して正に花の蕾となりぬれば早く好き聟を貰はんと撰擇に取懸りし結果は本町通に堅い〳〵品物の商賈をなす店の番頭さんなら大丈夫氣性まで堅いで有うと迎へ〳〵智養子となしたるは昨年の夏の事なりし夫れより二八の間は密の樣でたけ子は其の月より身も重く懐胎し和氣藹々たる家庭は附近の者の羨む處となりし月日の經つのは早いもので本年の本月は丁度月滿ちて御產の紐を解くべき月と樂しみ居たるに去る二月の中旬早くも玉の樣な子を分娩しければ聟殿初め雀躍りして喜ぶべきを聟殿は指折り數へて未だ十月にならぬ迚不審を起し心當りを詮索して見ると豈料らんやたけ子は自分の家の番頭と久しき間乙な仲で有た事を云ふ事を探知し目下ごた〳〵して居るとの投書嘘か眞か判らねば名は預る

答辭

左は去る二十四日擧行せられたる京城高等女學校卒業式に於ける卒業生總代平山孝子の答辭なるが辭ごとに美事なり

明治辛亥の春三月花笑ひ鳥うたふ今日しも我等をして恙なく學びの業を卒へしめ給ひてかゝに朝野貴賓のなみ居させ給ふ中にて我等のためにいと盛なる卒業の式を擧げさせられ且つまたかしこき御諭の言をさへたまはりぬ我等の光榮何ものにかたとへんおもへば我等一同かく袖をつらねてよなき學びをになへるも皆これひとへに校長先生を初め諸先生の御教の賜にしてつねに我等が心なきをもとがめ給はで正しき方へと導き給ひし御恵にてそあれわれ等この學び屋に入りてより今日に至るまで長き年月の間師の君には愚なる我等のために如何ばかり御心をなやまし給ひけむあはれこの御教此の御恵いかでか忘れまゐらすべき我等或は進みて高き學びの場に入り或は家にありて家事に心をつくすともみな齊しく日頃の御教にしたがひその務をはたして深き御恩の万一にも報い奉り本校の名をけがさゞらんことを神かけてちかひまつるあゝこの文の林にわけ入りてより早三年樂しく嬉しかりし月日は夢とすぎて今は早師の君と別れむつみし友とも離れゆかんとすわれ朝夕なれにし學び屋よ南山の松のいよゝ緑に漢江の水の長へにたゆせぬが如くいやますゝに榮え行かんことをこゝに誠をさゝげてつゝしみてこたへまつる

明治四十四年三月二十四日
京城居留民團立高等女學校
第三回卒業生總代 平山孝

●**憲兵軍曹破獄太郎** 廿四日午後八時頃仁川宮町深見酒店に色褪せたる洋服外套山高帽に入字髭を蓄へたる一見高等乞食体の男入來り吾は中央大學の出身にて前には佐世保要塞砲兵にて後に憲兵軍曹たりし事ありて一名破獄太郎と稱し常に六連發銃位は所持し居る杯と途徹もなき言語を吐き街吾は書家なればとて一枚の畫を取出し何程にても買求めらるゝか又は金錢を惠與せよと威脅文句を列べて强請したるより早速其筋へ通告したるにぞ本署へ引致し目下取調中なるが醉漢は長崎縣西彼杵郡諫早町自稱南洋五郎（三八）と云ふ者にて之れまでも此の手段を以て所々に迷惑を懸けし事不少と云ふ

●**第二回捕鼠懸賞抽籤** 警務總監部に於ては廿七日午後一時より第二回捕鼠懸賞抽籤を擧行すべしと

●**干海鼠泥棒就縛** 原籍長崎縣南松浦郡五島鯨村當時仁川宮町三丁目潜水業浦部源太郎方田畑鶴吉（三三）は本月二日の夜慶尙南道統營港吉野町米山熊吉所有の干海鼠製造内の門戸を破り赤干海鼠二十斤黑干海鼠十八斤合計金高原價二十三圓を竊取し同所の海產物商吉永卯吉方へ金二十二圓七十錢にて賣却費消したる事發覺し去る十三日釜山より仁川に來りし者にて十六日統營署より仁川警察署に電報を以て逮捕方依賴せしより坂下今井の三刑事は犯人搜査の結果廿四日午後五時前記浦部方に居るを認め難なく逮捕し野村警部の取調を受け昨日檢事局送りとなりたるが彼は前科二犯の曲者なりと

●**醉へば暴れる男** 愛媛縣人當時明治町三丁目居住指物職土井長次郎（三三）は南部署に於て警察犯處罰令違犯にて拘留處分受けし事屢々なるが二十四日午後十二時過ぎ泥醉本町憲通り蝎所町街路を徘徊し居るより警官制止せしどせしに暴言を吐きたるより南部署へ引致目下取調中なるが嚴重なる處分を喰す可しと

●**仁川の春季種痘** 仁川民團にては四月一日より左記日割を以て春季種痘を施行する事と成れるが從來接種者にて…爲め往々天然痘に罹るものあるより生後六十日を經過せる者は接種の有無を問はず一般接種を爲すべしと而場所及日割は左の如し
四月一日二日寺町小學校△同三日自午後二時至同四時民團樓上△同四日自午後二時至同四時八景園
右の外在仁各醫家に於ては四月一日より同八日まで每日午前中無料施痘す

●**公判だより** 愛知縣人當時住所不定辻源治郎（三十）は横領並に竊盜罪に因り懲役三年に▲大阪府生れ當時龍山柳町一丁目鈴木佐三郎は自轉車借り逃げ詐欺取財として懲役一年に▲福岡縣人當時住所不定平岡久吉（三四）は佐藤牧雜貨店に雇はれ中貨物代金七十餘圓横領費消し懲役三箇月に處せらる

日曜集會（廿六日）

●日本キリスト教會 旭町四丁目同教會にては廿六日午前九時より日曜學校同十時より丹羽清次郎氏の禮拜說教午後七時半より橋本金太郎氏の傳道說教ある由

●日本メソヂスト教會 バックストン師に代り日本傳道隊總理となれるウルクス教師來京せられ一二週間京城に滯在にて傳道せらるゝ筈にて尙廿六日午前十時より同教會にては洗禮及び聖讃あり夜は不知、廿七日は不能、廿八日は不如なる演題にて傳道演說ある由

●微笑會例會 初音町二丁目臨濟寺に於ては廿六日午後三時より圓山禪師の宗門提唱例會提唱並に參禪入室あり

●無門關提唱 若草町曹洞宗別院に於ては午前十時より田中道園師の無門關提唱あり參聽隨意

四ツ手網

◎新町娼妓讀み込都々逸（二） 浮世亭魚入

○大桝屋 彌生
積る思の雪さへとけて心陽氣な春彌生
○玉家 花子
花に戯れ袒根をこねて忍び狂ふた春の蝶
○第一樓 月子
永い苦勢の月日も明けて早やく女房といわれたい
○日曜樓 月曜
樂しい逢瀨の日曜は嬉し辛ひ月曜の別れ際
○大桝屋 貞子
貞女の鑑と名も高砂の松の操を立つる實

演藝だより

●歌舞伎座 浪花節雷右衛門一座にて二十六日の讀み物 關口彌太郎（雷藏）野狐三次（雷藏）大阪喜八（俵一）勝田新左衛門、小菊毅木府公（雷右衛門）

●御成座 兄弟義團一座廿六日の藝題は何切により不如歸御重なる配役は山木兵造（吉井）片岡中將（松津）千々岩大尉（小泉）浪子（東）川島武男（木村）

▲平民文壇▼

▲市内南山町旭町乃至其附近にて喜多流謠曲を御指南さるゝ御方あらば本欄にて御教示を願ひます（御謠冠者）▲朝鮮普通文官試驗は本年は何月に執行されますか試驗科目は何々に候や當欄に御指示被下度候（ユムオー生）▲廿二日の晝大和町一丁目の小路で才男が襟首をつかまへて打擲して居るのを見た原因を聞けば男は櫻井町に住する左官の宅野某が内縁の妻を某料理店に稼がし之を喰物にし無心を吹きかけるも度々の事故樓主も出金を承知せざる故其都度女を打擲するなりと某女の境遇を憫むべく宅野某の行爲實に惡む可きなり世の女子よ一身を托す可き男の撰定は考慮を要すべきなり（通掛賓見生）▲汀原鄕春川で獨身者の成功者は藥にし度くも無い皆失敗だ官吏さん弱旨意外收入が多いから何夜醜業婦を引張り込んでも困り之れ有る間敷くも我々商人は實に困却仕候可然何とか好い方法は有りますまいかねー（一商人）▲春川分監の○村さん其許何となく淫賣上りの材木やと親しき由なるが日陰の仕事は兎角危險にバレるに依り褓穿柄注意イヤ肝要でげす（大目付役）▲龍山印刷局の柿本某は馬鹿に役所風を吹かして威張り散らすが今にして改悛せざれば衞惡の化けの皮を暴露するぞ今後は大に愼みて可然した（御用商）▲南大門通り京城○○館の小僧共は女學生の通行するを見て鼻をたらして居るが小僧でも鼻をたれると醜いよ（半額生）▲朝鮮を統一する總督府の所在地なる半島首府にて有りながら午砲の無きは如何にも殘念だ時計を所持して居られる人士は差支は有るまじきも我等日傭取りは實に困る是非共午砲の設置を乞ふ（職人）▲有爲轉變の世とは云へ女郎が貴婦人になり貴婦人が女郎になるとは實に此世は不可解だね（操）▲小僧を拂つて信用を得よとは古人の言なりナト拂ひの惡しき所は考ふ可き事に非ざる哉（米屋）▲人生も病と云ふ魔に襲はれば終生駄目だ斯の如き樂しき望み多き有る事際に唯一人樂しみ學ぶ寮友を見るは嗚呼情なき世の一層なるを覺ゆ（悲觀生）▲悲觀生君よ人生僅か五十年宴親十年うたゝ寢十年朝寢十年宵寢十年と加算引き去れば人間もゼロだ樂觀的にね―遣り給へ（小僧）

日の運勢

三月廿六日舊二月廿六日 黑乙未先負定△一白 保證受印裏書協同連盟の事を戒む御業務上整滯多し起業開店婚談金談旅行移轉に凶△二黑 非道なり惡事謹慎の事推奬勝引を斥くべし新事旅行婚談金談移轉共同の事に忌む△三碧 不得要領に了る事多し又業務上に倒れ逆旅生ぜんとす旅行移轉婚談凶△四綠 授受證券の事故障起らんとす起業開店婚談凶△五黃 恩を施して仇に報せらるゝあり使子孫部下の事注意すべし他は靜事△六白 快欣の日大凡吉不和葛藤及衞生負傷注意すべし△七赤 盛運は大凡吉雇入及孫の事を爲すに忌む△八白 他人の世話事多し他は和平の日旅行移轉行商探險談合淨盟に尤も好し△九紫 修交中裁談合連盟協約協同の事に尤も好し衞生負傷注意すべし
三月廿七日三碧丙申佛滅執△一白 平和の日大凡障害なし旅行運送上注意すべし△二黑 反覆繰返再事の事に好し他の行事控へ目の事業上不如意の事多し△三碧 要求懸願にあふの恐れあり總じて實効の收まり難き日諸事手控への事競爭競合入札の事進んで吉△四綠 色情閨門の亂れと火の元用意の事他は平和なり共同組合連盟結社に吉△五黃 建築動土に吉他は手控への事盜害横領防ぐべし△六白 進退機を失し失却來り易し起業開店旅行移轉金談貸借効無し△七赤 人言に動かされ易し勢多し業務上効少く且つ金談取引貸借に尤も凶遺失負傷防ぐべし△八白 徒旅行移轉起業開店婚約其他身上に變更業務上の談合打合せ効無し旅行婚談起業開店移轉凶△九紫 不和紛爭を戒む其他盛運日なり婚談養子談旅行命名披露祝典に尤も吉（本町五丁目三一舘判斷）

●**天氣豫報**（自廿五日午前六時至廿六日午後六時）
北東風曇後晴